

対訳資料

179 人の始まり

はじまいやよー、食物のーよー、御天から落さーによー、あんさーに、与てーるばーよー。

あんさーに、後からー欲ぬ出じやーによー、あーくれーなー一回に食むわんでいやーに、隠じみたるゆい
ない、

「あー、くつたーなまねー、自分さーに口えー持ちう
すさやー」んでい言やーに、うにーから、天からー落
ていてー来んなたくとう。

「トートーメーサイ、トートーメー、大餅やていん餅
ぐわーやていん、うたびみそーり、トートーメー」ん
でい歌うたやーに。

うりからー、あんせーならんでいやーに、今度種作
たいぬーさい、はじめてい自分さーに稲作てい、子作
いし、うつたー二人から夫婦からはじまたんでい。

最初はね、食べ物はね、天から落とされてね、そし
て、食べ物は与えられたそうだよ。

それから、後になって欲が出てきて、ああこれはも
う一度に食べようと思つて、しまつておくことにした
ので、

「ああ、この人たちはもう、自分で食いぶちは持てる
んだ」と言つて、それから、天から落ちて来なくな
つたので、

「お月さま、お月さま、大きな餅でも、小さな餅でも、
与えて下さい、お月さま」と歌を歌つたそうだよ。

それから、これではいけないと、こんどは稲を作つ
たりなんかして、はじめて自分で稲を作つて、子どもを
作つたりして、その二人から夫婦は始まつたそうだよ。

うぬ二人ぬ兄妹ちやうでさーに、ウミナイ、ウミキーないる
ばーてー。

ウマチーぬウブンち、ウブンよー、マカイた二ちんか
い、かんし重かさにいてい、うさぎーんよー、くんなげーや
よー、今いま、少ないふいぐわーやていんた二ち重かさにいてい。

地じと天てんとーまたよー、夫婦みーとんだやくとうよー、御天うていんか
らやー雨降あみふんそーりわる作物むの実でいきーせーやー、地じと天ていん
とー夫婦とらじみーとら、一人欠ちゆいかきーねー、合あさらんねー、夫とらじみーとら婦とら
組ぐならんねー、子生くそーなはらんせーやー、あんすくとう、
かねー二たんちやるばー。

字与座 城間ウシ

その二人の姉弟で、姉と弟であるのだがね。

お祭りのウブンって、ご飯はおわん二つに、こうし
て重ねて、お供えしているが、これまではね、今は、
少しでも二つ重ねているよ。

地と天とはまた、夫婦だからね、お天道さまから、
雨が降って、作物は実るので、地と天とは夫婦で、一
人でも欠けると、合わされなければ、夫婦一緒になら
なければ、子どもは生まれられないでしょう。だから、要
は二人という。